

令和 6（2024）年度 資源評価調査状況報告書（拡大種）

マコガレイ太平洋中・南部

対象水域	太平洋中・南部	参画機関名	水産研究・教育機構 水産資源研究所 社会・生態系システム部、千葉県水産総合研究センター、神奈川県水産技術センター
------	---------	-------	---

- ・ 令和 5 年度資源評価調査報告書を公表済み（https://abchan.fra.go.jp/wpt/wp-content/uploads/2024/03/trends_2023_180.pdf）、次回令和 8 年度を予定

(1) 調査の概要

- ・ 機構および千葉県は生物情報および沿岸海洋環境に関する情報収集調査を実施
- ・ 千葉県および神奈川県は漁獲量統計調査を実施
- ・ 本年度は資源評価調査報告書の作成は行わず、漁獲統計等の更新および関連情報の収集を実施
- ・ 千葉県は沿岸重要水産資源として、本種（東京湾）の資源評価を実施
- ・ 神奈川県は重要水産資源として、東京湾を対象に水準と動向を評価

(2) データ収集状況

- ・ 千葉県では主要9漁協（東京湾内は4漁協）の2004～2023年の年別漁獲量を収集済み
2024年以降の年別漁獲量を収集中
- ・ 神奈川県では主要1漁協の2015年～2023年の月別漁獲量を収集済み
2024年以降の月別漁獲量を収集中
- ・ 千葉県・機構では東京湾内で沿岸環境観測情報・漁獲情報を収集中
- ・ 機構では千葉県、神奈川県海域での栄養塩類について分析サンプルを収集中
- ・ 機構では漁獲量以外の利用可能な情報（漁法、努力量等）について収集中

(3) 生物学的特性

- (1) 分布・回遊：令和 5 年度資源評価調査報告書を参照（https://abchan.fra.go.jp/wpt/wp-content/uploads/2024/03/trends_2023_180.pdf）
- (2) 年齢・成長：同上
- (3) 成熟・産卵：同上
- (4) 被捕食関係：同上

(4) 備考

- ・ 千葉県では 20 年以上種苗放流が行われている
- ・ 千葉県では、休漁日の設定や漁具の制限による漁獲圧の抑制、稚魚や産卵親魚保護を目的とした禁漁区の設定など、漁業者による自主的な資源管理が実施されている

- ・神奈川県では「東京内湾海域小型機船底びき網漁業 包括的資源回復計画」に続き（現在は漁業経営安定対策事業に基づく各漁協の資源管理計画に移行）、漁獲物規制、作業時間制限、漁具規制、休漁日の設定が実施されている